

子どもの貧困対策は 社会のインフラ整備



国分寺・生活者ネットワーク 岩永 康代

■子育て支援策■**岩永** 貧困や虐待の背景には、孤立や公的支援の不足等、個人的な要因だけではない様々な社会的要因がある。貧困の背景も含めた実態把握を。答他自治体の調査結果等も含めて研究する。**岩永** 策定中の総合ビジョンに子どもの貧困対策を位置づけ、市民の力もお借りしながら進めていただきたい。答子育て支援全体の中で子ども達を守る趣旨を盛り込めるように検討する。**岩永** リスクのある妊婦さんの早期支援が重要。母子手帳配布時のアンケート項目の見直しと、1月から開始された子ども家庭支援センターでの母子手帳交付の更なる周知を。答年度内に精査する。周知方法は検討する。**岩永** 産後うつを初め、産後の心身のトラブルが増えている。市民との協働による訪問支援のしくみづくりと合わせて、母子保健における専門職による訪問支援の拡充を。答助産師による母子訪問や相談事業の充実が必要。電話での状況確認や職員同行による訪問回数を更に増やす等、顔の見える関係づくりが必要。**岩永** 生活保護の受給者数は毎年増加している一方で、就学援助率は減少傾向にある。教育制度におけるセーフティーネット的役割を担う就学援助の更なる周知徹底が必要。また、入学準備金は要保護では3月、準要保護では8月に支給される。必要な人が必要な時に必要な支援を受けられるよう、先進事例を参考に入学前支給の実施を。答各市の動向を見極め必要であれば検討する。**岩永** 窓口や相談対応の中で、取りこぼさない仕組みづくりのツールとして「連携シート」を活用する等、庁内連携の促進を。答導入を検討する。■交通安全政策■**岩永** ハード面・ソフト面の両輪で、計画的に交通安全施策を進めることが必須。中長期的な視点を持ち、市民参加で市の実情に合った「交通安全計画」の策定を。答策定に向けた検討を行う。**岩永** 交通安全対策協議会の充実、見守りボランティアの研修、子どもたちへの交通安全教育の推進と合わせて、交通安全まちづくりという観点から、市民との協働で地域の交通安全対策に取り組む組織づくりを。■国分寺まつり■2年間続けて特定の団体が出店できなかったが、今年こそは誰もが参加できるおまつりにしたい。自治基本条例に基づく参加の権利が侵害されている現状に対し、市民の権利及び利益の擁護に努めること等を要望した。

ピロリ菌抗体検査の 公費助成で胃がん対策を



公明党 高橋 りょう子

(1) 市民の健康推進施策・健診受診について
①**高橋** 25～29歳健康診断が新規事業として開始。若年層の生活習慣は将来にも影響し生活習慣の改善、早期発見治療に有効と評価。納税通知書への同封や雇用事業主にご協力頂く等、対象者への情報提供・周知を工夫し受診勧奨を。市) 市報やツイッターSNS等、世代に合った情報発信ツール活用で直接的な働きかけをする。
②**高橋** 胃がんは死因第3位に位置し主な原因

菌「ピロリ菌」発見には、「抗体検査」が大変有効。公費助成で早期発見治療の後押しを。

市)「ピロリ菌」は胃がん、胃潰瘍等の原因菌とされ除菌で胃がんの発生を抑制し医療費適正化に資すると認識。多摩地域26市中11市で先行実施とも確認している。本市に於いても対象年齢など分析・研究し、導入を検討する。

(2) 食育推進で環境への意識改革を (t:トン)

①**高橋** 国連が食糧難に苦しむ国々に援助している総量は320万tと。日本の年間食品ロスは642万t。内訳は食品関連事業者から330万t、家庭からの廃棄は312万tとの推計が。ホテル業界では結婚式等で残った食事をドギーバッグでお客様にお持ち帰り頂き、途上国の子供達の給食費に充てる取り組みなどが始まっている。私たちが家庭から出る食べられる食品の廃棄「フードロス削減」によるごみ減量の啓発推進を。

市) 食料品は消費・賞味期限を過ぎるとごみに。食育の視点から市民への意識啓発に取り組む。

②**高橋** 贈答品や消費期限前の未利用食品廃棄はもったいない。福祉目的の支援や施設へ寄贈等「フードバンク」への活用推進の取り組みを。

市) 賞味期限内に消費できそうもない食品を必要な人に配布する取り組みは有効。研究したい。

(3) 障がい者支援施策について

高橋 視覚障がい者の道先案内となる点状ブロック上に人が立ち看板が置かれている場合がある。最大限の配慮を。市) 鉄道事業者等設置者に対し安全な移動の確保を求めていく。又市の道路巡回パトロール時にも点検・確認をする。

高橋 障がい者の作品や商品を庁舎・公共施設で販売する等、就労・雇用先拡大支援の検討を。

その他: ①聴覚障がい者への手話通訳支援を。

②投票所の増設、投票時間の延長など検討を。

③災害時対応には女性の視点着眼点は大変重要。女性職員の計画的な育成配置や登用等を質問。

戦略的視点と効果的な 市政経営を求める



国分寺政策市民フォーラム 丸山 哲平

広報・まちの魅力発信について

丸山 当市は各部署毎に広報資料・パンフレットが多く存在するも、全体として市の魅力なり概要を簡潔明瞭にまとめたものはない。市の広報戦略を明らかにする上でも必須と考える。政策部長) 必要性は認識、まとめて参りたい。

出先機関のマネジメントについて

丸山 ある児童館でランドセル来館の受付につき「電話・連絡帳のいずれか」「電話連絡のみ」と異なる内容の通知が同時期に出された。子ども家庭部長) 事実・状況は把握している。

丸山 矛盾した内容でありおかしい。本件に限らず出先機関のガバナンス・マネジメントに甘い部分がある。連絡・管理体制改善を求める。子ども家庭部長) 今後改善、改良を図りたい。

熱中症対策・健康増進について

丸山 戸倉第二テニスコートに日除けがない。熱中症につながるおそれがあり対策を願う。スポーツ振興、推奨をする上で、こうした設備面での充足・バランスを図ることが必要である。市民生活部長) 何かしらの熱中症対策は必要と考える。実効性のある方策を検討したい。

丸山 立川市で「健康フェア」という地域毎に自治会を主体に、健康・医療・介護に関連する諸団体が集まり、参加した市民の状況に合わせて適切なプログラムを提案する取り組みが行われ

ている。健康増進及び地域活性化という点から有効であり当市も行うべきと考えるがどうか。福祉保健部長) 地域保健・福祉という観点で有効な取組みと考える。地域・関係団体と相談し進めてまいりたい。立川の現場も確認したい。

職員について

丸山 昨年、職員の懲罰基準が民間等と比較し甘いと指摘したが、進捗はどうなっているか。総務部長) 昨年の指摘を受け、東京都の処分基準を参考に見直しを行っている。基準の適正化・厳罰化を図るため検討を進めている。

資料作成方法について

丸山 市役所の紙使用量が減っていない。要因に資料作成方法の無駄があると考える。民間の資料作成方法を参考にする・統一ルールを策定する等、削減に向けた改革、取組みを求める。政策部長) 資料作成における統一したルールが現状ない。削減に向け研究を進めたい。

その他) 職員研修、地震対策等につき質問。

教育支援は 未来への投資



国分寺政策市民フォーラム 星 いつつう

◆特別支援教育の水準維持を

星) 小学校の通常の学級に在籍している発達障がい児の一部は、クラスの授業を一部抜けて、他校に設置された「通級指導学級」に通い指導を受けている。2018年度からは、各小学校に「特別支援教室」が設置され、児童が移動するのではなく、教員が各校をまわり指導する制度に変わる。これらの教育の目的はなにか。教育長) 自立活動であったり、教科の補充学習を行うものである。

星) 当市の「通級指導学級」は、必要な学習が網羅されており、「他市と比較しても充実している」との声をお聞きしている。「制度が変更になっても今の水準を維持してもらいたい」というのが保護者の願い。たとえば、トランポリンやバランスボールなどを使っての指導も行われているが、制度が変わり教員が巡回するときに、教具を持ち運ぶことになるのか。教具・教材の整備をどのように考えているのか。教育長) 各学校で必要なものは各学校でそろえる。

星) 「就労し、きちんと納税者になるように育てていきたい」との保護者の声もお聞きした。子どもたちのそれぞれの個性・持ち味を伸ばして地域・社会の発展に寄与する一員になってもらう。お金のかかる課題も発生してくるだろうが、「未来への投資」との観点からこの新制度についてご検討をいただきたい。

◆高齢者の健康づくり

星) 「子どもの世話にはなりたくない。介護施設

次ページに続く

請願・陳情の提出について

請願・陳情はどなたでも提出できます

市民の皆様への行政等に対するご要望は、請願・陳情として市議会に提出できます。請願・陳情はいつでも提出できますが、平成28年第3回定例会(9月1日開会予定)からの審議を希望する方は、8月12日(金)までに議会事務局へご持参ください。